

令和3年度の予算

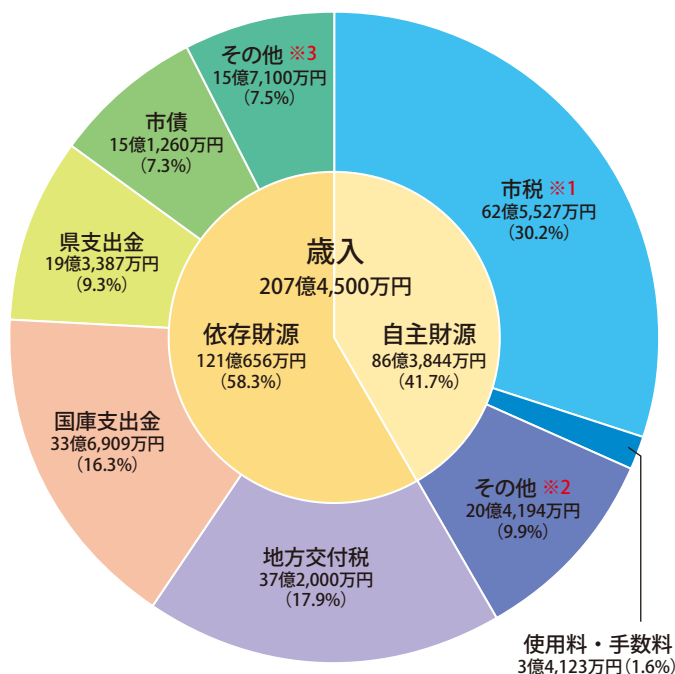


令和3年度予算は、4月に市長選挙が行われたため、新規事業は極力抑え、義務的経費を中心とした「骨格予算」として編成しています。

一般会計予算額は、207億4,500万円で、前年度の予算額203億1,700万円より2.1%の増となりました。特別会計予算額は、109億9,861万7千円で、前年度の予算額110億5,049万9千円より0.5%の減、公営企業会計予算額は、32億7,654万1千円で、前年度の予算額30億6,302万9千円より7.0%の増となりました。

一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、令和2年度(67億5,629万2千円)より7.4%減、地方交付税は、前年度(36億2,000万円)より2.8%の増となります。



※1 <市税の内訳>

市民税	30億7,831万円
(個人)	28億3,189万円
(法人)	2億4,642万円
固定資産税	26億3,681万円
軽自動車税	1億6,058万円
市たばこ税	3億7,957万円

※2 <自主財源：その他の内訳>

分担金・負担金	1億9,659万円
財産収入	9,672万円
寄附金	6億5,080万円
繰入金	8億7,820万円
諸収入	2億1,963万円

用語の解説

- ◆**市税** 皆さんから市に納めていただいた税金 (市民税・固定資産税など)
- ◆**使用料・手数料** あすてらすや運動公園などの使用料や住民票発行などの手数料
- ◆**地方交付税** 国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ◆**市債** 事業を行うために市が借り入れるお金
- ◆**自主財源** 市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金
- ◆**依存財源** 国・県などの意志により交付されるお金
- ◆**特別会計** 特定の収入を特定の支出にあて、一般会計と経理を別にして運営する会計
- ◆**公営企業会計** 民間企業と同様の会計基準に基づき、発生主義、複式簿記を採用して運営する会計

※3 <依存財源：その他の内訳>

地方譲与税	1億9,370万円
利子割交付金	400万円
配当割交付金	2,400万円
株式等譲渡所得割交付金	4,580万円
法人事業税交付金	2,800万円
地方消費税交付金	10億8,400万円
ゴルフ場利用税交付金	1,700万円
環境性能割交付金	1,900万円
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	800万円
地方特例交付金	1億3,800万円
交通安全対策特別交付金	950万円

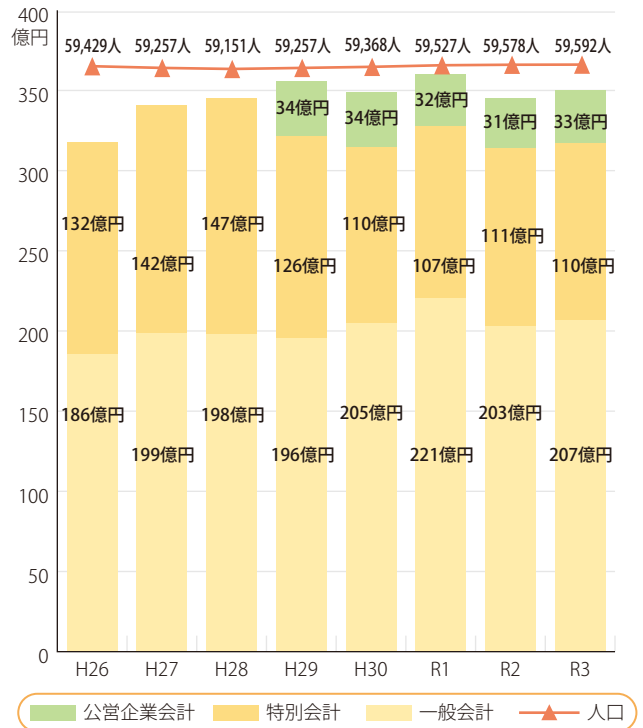
当初予算規模

※()内は前年度比増減率

◇一般会計	207億4,500万円(2.1%増)
◇特別会計	109億9,861万7千円(0.5%減)
(内訳)	
・国民健康保険事業特別会計	55億4,839万8千円(2.8%減)
・後期高齢者医療特別会計	10億3,996万8千円(3.8%増)
・介護保険事業特別会計	
介護保険事業勘定	43億9,103万8千円(2.6%増)
介護サービス事業勘定	—(皆減)
・住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,091万3千円(0.9%増)
・工業団地整備事業特別会計	830万円(82.1%減)
◇公営企業会計	32億7,654万1千円(7.0%増)
(内訳)	
・下水道事業会計	
収益的支出	17億2,364万1千円(0.4%増)
資本的支出	15億5,290万円(15.3%増)
◆予算総額	350億2,015万8千円(1.7%増)

人口と予算の推移

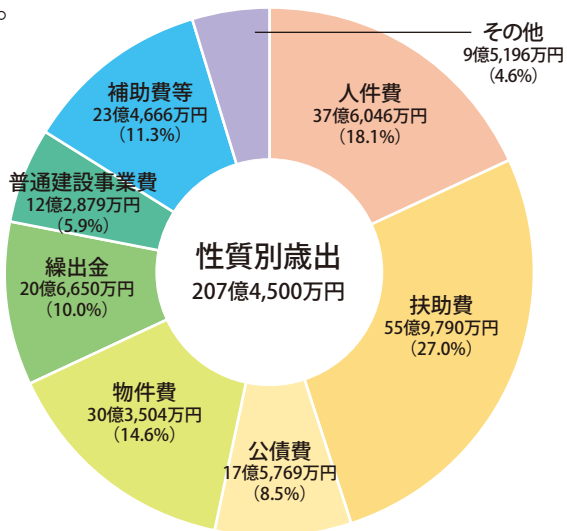
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は、6月補正後(内付け後)予算を使用(人口：各年度4月1日現在)



一般会計・歳出

●性質別歳出

義務的経費(支出が義務付けられ任意に削減できない経費、「人件費」「扶助費」「公債費」の合計)が、53.6%と全体の約半分を占めています。

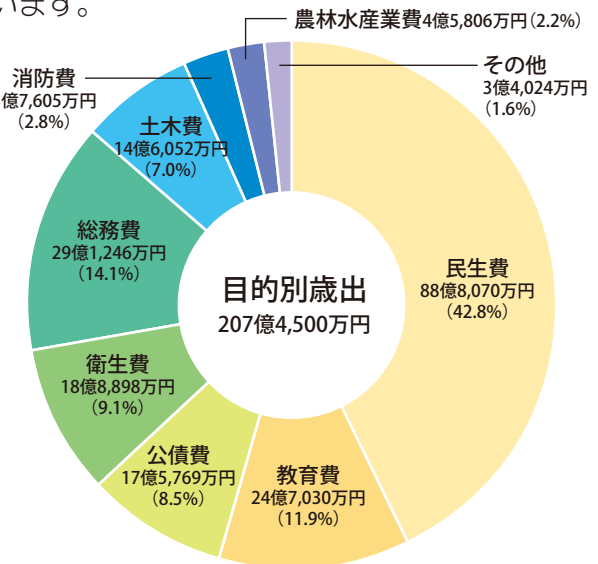


～性質別歳出～

- ◆人件費 職員や特別職の給与、議員や各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆扶助費 生活保護費、児童手当、医療費などに使うお金
- ◆物件費 委託料、光熱水費、備品購入費などに使うお金
- ◆繰出金 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆普通建設事業費 道路・橋梁などの整備や公共施設の新設増改築などに使うお金
- ◆補助費等 団体への補助金や負担金に使うお金

●目的別歳出

社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が42.8%と最も高い割合を占めています。



～目的別歳出～

- ◆民生費 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆教育費 小・中学校の運営費用、図書館など教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆公債費 借り入れたお金を返済するためのお金
- ◆衛生費 感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ごみ処理などに使うお金
- ◆総務費 課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金
- ◆土木費 都市基盤整備や道路、公園、河川などの維持管理・改良などに使うお金

主な事業について

令和3年度当初予算は骨格予算として編成しましたが、新型コロナウイルス対策関連事業の他、防災や子育て支援など、市の発展につながる取組に重点を置いて、以下のような事業を予算計上しています。

都市機能・都市基盤づくり

消防・防災・国土の安全
 ★河川維持補修事業 874万5千円
しゅんせつ
 市内河川の流下能力を維持するために浚渫を行います。

活力ある産業づくり

農業
 ★水田農業担い手機械導入支援事業 2,899万円
 農業経営体の経営力を強化・改善するために必要な農業機械の導入を支援します。

居住環境づくり

住環境
 ★市営住宅改修事業 800万円
 より良好な生活環境を確保するために、市営井上第1住宅に公共下水道を接続します。

健康と福祉づくり

子育て支援
 ★私立保育園施設整備補助金 1億57万5千円
 待機児童解消に向けて増改築工事を行う小郡中央保育園に対して、その費用を補助します。

教育と地域文化づくり

学校教育
 ★GIGAスクール構想事業 2,711万円
 ICT教育活動の充実を図るため、ICT機器を活用した授業を実施します。

地域自治体制づくり

行財政運営
 ★ふるさと納税推進事業 10億1,599万6千円
 ふるさと納税返礼品の充実や民間の寄附受付サイトを活用し、寄附金のさらなる拡大に努めます。

令和3年度一般会計予算を家計簿に例えてみると

令和3年度一般会計予算を家計簿に置き換えました。市の予算額は規模が大きいので、より分かりやすくするために、規模を4,000分の1に縮小しています。

収入	前年度比
給料(市税) 156万円	(▲13万円)
給料(諸手当) 地方交付税や地方譲与税など 各種交付金 132万円	(+4万円)
実家からの援助(国・県補助金) 133万円	(±0)
パート・家賃収入 (分担金・負担金・手数料・使用料) 14万円	(▲1万円)
貯金の取崩(繰入金) 22万円	(+10万円)
銀行からの借入(市債) 38万円	(+8万円)
雑収入 (財産収入・諸収入・寄附金) 24万円	(+3万円)
合計 519万円	(+11万円)

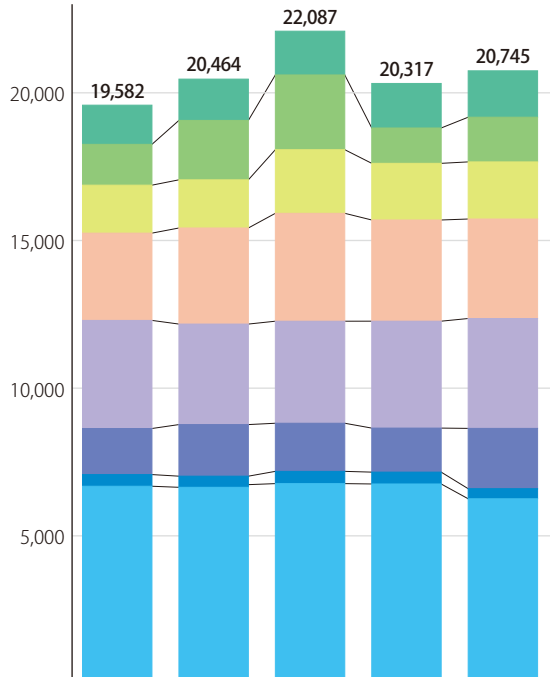
※貯金残高 77万円 (+11万円)
 ※ローン残高 462万円 (+2万円)

給料や実家からの援助だけでは収入が不足するため、貯金の取崩や銀行からの借入を行っています。

支出	前年度比
食費(人件費) 94万円	(+1万円)
医療費・養育費(扶助費) 140万円	(+3万円)
ローン返済(公債費) 44万円	(▲2万円)
家の増改築など(投資的経費) 31万円	(▲2万円)
家や車の補修(維持補修費) 3万円	(±0)
子どもへの仕送り(繰出金) 66万円	(+2万円)
保険料など (補助費等のうち一部事務組合負担金) 28万円	(▲1万円)
光熱水費・通信費・雑費など (物件費) 76万円	(+2万円)
区費やサークル・会合への 会費など(補助費等) 20万円	(+2万円)
貯金(積立金) 16万円	(+6万円)
その他支出 (投資及び出資金、予備費) 1万円	(±0)
合計 519万円	(+11万円)

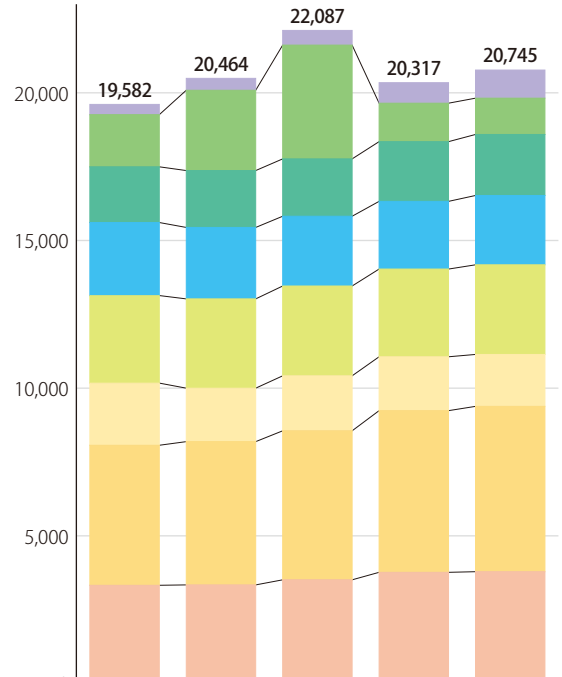
一般会計予算の推移 (内訳)

〔歳入〕 (単位:百万円)



	H29	H30	R1	R2	R3
その他(依存財源)	1,327	1,398	1,482	1,508	1,571
市債	1,382	2,012	2,531	1,197	1,513
県支出金	1,624	1,631	2,154	1,918	1,934
国庫支出金	2,955	3,253	3,653	3,426	3,369
地方交付税	3,660	3,403	3,455	3,620	3,720
その他(自主財源)	1,560	1,747	1,629	1,491	2,042
使用料・手数料	395	377	415	401	341
市税	6,679	6,643	6,768	6,756	6,255

〔歳出〕 (単位:百万円)

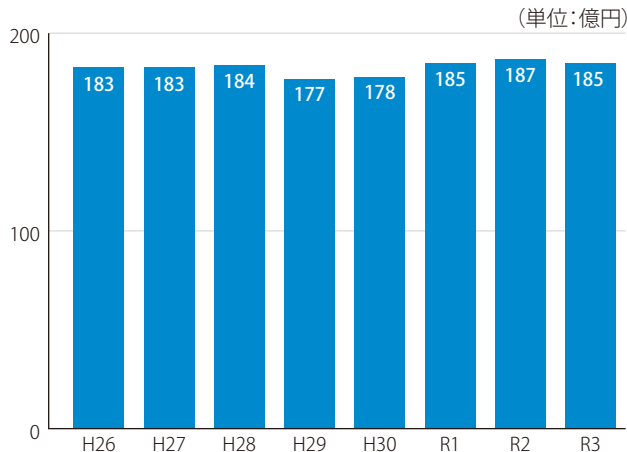


	H29	H30	R1	R2	R3
その他	348	403	497	694	952
普通建設事業費	1,765	2,719	3,853	1,302	1,229
繰出金	1,887	1,926	1,942	2,022	2,066
補助費等	2,477	2,419	2,362	2,292	2,347
物件費	2,962	3,025	3,041	2,970	3,035
公債費	2,102	1,808	1,862	1,824	1,758
扶助費	4,741	4,851	5,045	5,474	5,598
人件費	3,300	3,313	3,485	3,739	3,760

市債残高の推移 (一般会計)

市債とは、道路や公園、学校施設などを整備する際に借り入れるお金のことで、市の「借金」にあたるものです。

近年の普通建設事業の増加により、市債発行額が増加傾向にありました。令和3年度は骨格予算にて編成を行い、投資的経費を抑制したため、市債残高が約2億円減り、185億円となる見込みです。



基金残高の推移 (一般会計)

基金とは、市の「貯金」にあたるものです。

近年のふるさと寄附金の増加で、まちづくり支援基金への積立が増加しましたが、財源不足の影響で、平成26年度から財政調整基金を取り崩しているため、令和3年度末の基金残高は31億円となる見込みです。

